

施策マネジメントシート(平成25年度の振り返り、総括)

作成日 平成 26 年 6 月 30 日

基本目標	V	豊かな心と文化を育むまち	主管課	名称	教育課
				課長	岡田 宏一
施策	29	文化財の保存と活用	関係課		

施策の目的	対象	意図	基本事業名	対象	意図
			2 文化財の活用	町民	文化財に関心を持ち、重要性を知る。
			3		
			4		
			5		

成果指標	成果指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
				A	文化財の保護活動参加者数	人	実績値	-	320	303
			目標値		320	320	320	320	320	320
B	地域の伝統芸能に参加している町民の割合	%	実績値	10.7	11.1	8.3				
			目標値		10.8	11.0	11.2	11.4	11.6	11.8
C	保護・継承されている指定文化財の数	件	実績値	96	96	98				
			目標値		97	98	98	99	99	100
D	地域で継承されている伝統芸能の数	件	実績値	30	30	30				
			目標値		30	30	30	30	30	30
E			実績値							
			目標値							
F			実績値							
			目標値							

実績値の把握方法

A) 直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成できているといえるため成果指標とした。
 主管課が毎年保護活動に対する謝礼を支払う際に年間の活動実績を調査
 指定文化財で維持管理に経費の生じるもの(指定文化財全体の約4割)については管理者に対して実績報告に基づき謝金(5,000円～10,000円)を支払っている。

B) 直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成できているといえるため成果指標とした。
 町民アンケートにより把握
 ※あなたは日頃、文化芸術に触れ親しんでいますか。→「地域の伝統芸能(祭りや神楽、獅子舞など)に参加する」と回答した人の割合

C) 直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成できているといえるため成果指標とした。
 主管課で実数を把握

D) 直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成できているといえるため成果指標とした。
 主管課が毎年保存会等代表者に直接聞き取り調査を実施

目標値設定の考え方

A) 地区や神社の役員などがこれに当たるが、年々減少の傾向にあり、成り行き値は2年ごとに5人ほど減少すると予想される。文化財の啓発普及活動を活発にするなど郷土愛とともに地元の文化財を自分たちで保護するという考え方を広める工夫を行うことなどにより現状を維持する。

B) 伝統芸能の本来の意味に賛同し、継承に新たに係わってくれる人を確保するのは困難であり、高齢化が進行するため、伝統芸能の保護継承に携われる人が徐々に減少するのではないかと。一方で、地域の伝統芸能を継承するためには一定の人数が必要。現状でもぎりぎりの状態であり、現在の人数(約2,300人)を維持しようとする、人口減少を考慮して平成29年度に11.8%をめざす。

C) 今後、指定文化財として指定される可能性のあるものが数件ある。文化財保護委員の活動が活発であり、増加する可能性が高い。2年に1件のペースで増やし、平成29年度に100件をめざす。【沼田市:93件(H25)、片品村:53件(H25)、川場村:11件(H25)、昭和村:21件(H25)】

D) 現在のところ教育委員会が把握している地域の伝統芸能(太々神楽、獅子舞など)は30件である。いずれも人員・予算的にギリギリの状態であるが、参加者を地元の地区以外からも募集するなど様々な工夫をこらして継承している。多少なりとも教育委員会として応援し、現状を維持することを目標とする。

施策のための役割分担	1. 町民(事業所、地域、団体)の役割	2. 行政(町、県、国)の役割
	①身近にある地域文化や文化財に関心を持ち、その重要性を認識するとともに、保護・啓発に努める。 ②地域の伝統行事に積極的に参加し、後世に継承する。 ③保護行政の理解・協力を努める。	①文化財に関する情報を発信するなど、町民の意識啓発を行い、郷土や歴史への認識を深める。 ②建物・史跡・美術工芸・天然記念物等の有形文化財を調査し保護管理する。 ③文化財の保護活動や後継者の育成を支援するなど、地域文化の継承を推進する。

施策を取り巻く状況	1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか?	2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?
	①文化庁は従来文化財の保護を重視してきたが、最近では活用にも力を入れ始めている。しかし、観光に活用するために文化財を保護するのではなく、あくまでも文化財保護を目的としている。 ②町文化財調査委員は意欲的であり、新しい指定文化財が増えていくと考えられる。 ③人口減少や少子高齢化により、伝統芸能の継承者が減少。後継者育成が困難な状態になる。	①文化財等の保存意識の強い住民から、伝統行事の衣装や備品、文化財の修繕に関する要望が多い。 ②文化財の公開の仕方を考えてほしい。特に名胡桃城址や矢瀬遺跡。

施策	29	文化財の保存と活用	主管課	名称	教育課
				課長	岡田 宏一

実績比較		背景・要因	
施策の成果水準の分析と背景・要因の考察	① 時系列比較	<input type="checkbox"/> かなり向上した。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば向上した。 <input checked="" type="checkbox"/> ほとんど変わらない。(横ばい状態) <input type="checkbox"/> どちらかといえば低下した。 <input type="checkbox"/> かなり低下した。	①地域の行事等には気軽に参加できるが、伝統芸能となると敷居が高く限られた人の活動という意識があり、日頃から親しむという感覚はないのではないかと考えられる。 ②指定文化財数は、平成21年度以降96件で増減していないが、新たに2件(子持神社・大庄屋の母屋)の町指定を受けた。その結果、平成25年度は町・県・国指定の合計は98件である。
	② 他団体との比較	<input type="checkbox"/> かなり高い水準である。 <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば高い水準である。 <input type="checkbox"/> ほぼ同水準である。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば低い水準である。 <input type="checkbox"/> かなり低い水準である。	①近隣自治体と比較して、指定文化財の数は多い。要因として町民の歴史に対する意識が高いことも考えられる(実際に歴史的遺産を文化財指定するかしないかは文化財調査委員や教育委員会が判断)が、三国街道があったことが大きな要因と思われる。街道沿いには文化財が多い。 ※平成26年4月1日現在の各市町村の指定文化財数 みなかみ町 国：8 県：21 町：69 計：98 沼田市 国：5 県：14 市：74 計：93 片品村 国：3 県：6 村：44 計：53 川場村 国：1 県：5 村：5 計：11 昭和村 国：0 県：2 村：19 計：21
	③ 目標の達成状況	<input type="checkbox"/> 目標値を大きく上回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を多少上回った。 <input type="checkbox"/> ほぼ目標値どおりの成果であった。 <input checked="" type="checkbox"/> 目標値を多少下回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を大きく下回った。	①文化財の保護活動参加者数 目標値を下回った。人口減少にも関連していると思われる。 ②地域の伝統芸能に参加している町民の割合 目標値を下回った。人口減少にも関連していると思われる。 ③保護・継承されている指定文化財の数 目標値どおりだった。2年に1件を指定して平成29年度までに指定文化財を100件とするを目標としており、現状ではこの目標を達成できる見込みである。 ④地域で継承されている伝統芸能の数 目標値どおりだった。しかし、予断できず人口減少を原因として地域に伝わる神社行事などの伝統芸能がなくなってしまう恐れは依然として残っている。
成果実績に対する取り組みの総括	①水上石器時代住居跡調査事業・・・1000分の1地形図作成／調査地点のグリッド作成／住居跡2軒の平断面図作成／2m×4mの試掘を12箇所実施。 ②名胡桃城址整備事業・・・コンサルを交えて保存整備委員会を3回実施し基本計画を作成(H26へ継続)。 ③普及啓発活動・・・藤原諏訪神社に「獅子舞」と「歌舞伎舞台」2件の標柱を建て替えたほか、古馬牧小、桃野小、月夜野北小では授業で資料館・矢瀬遺跡・名胡桃城址を活用した。 ④伝統芸能・・・「古馬牧の人形浄瑠璃」は11/8水上小で伝統芸能教室を開催。5～6年生69人を対象に体験活動を行った。また、7月～3月にかけて文化財保存事業費補助金により座員5人を対象に義太夫教室を開催し後継者育成に努めた。その他、子ども歌舞伎は11/17に大胡シャンデで開催された「ぐんま民俗芸能フェスティバル」(入場者300人)に出演した。 ⑤その他・・・指定文化財は管理状況調査により保護継承に働きかけているが、指定されていない文化財は何ら措置を施していない。		

今後の課題と取り組み方針(案)	基本事業名	今後の課題	平成27年度の取り組み方針(案)
	1	文化財の保存	指定文化財の老朽化が目立ち、修繕が必要。矢瀬遺跡、旧戸部家住宅、猿ヶ京閣所跡、旧大庄屋役宅書院、藤原諏訪神社の歌舞伎舞台など。 重要文化財や史跡、天然記念物など物件としての文化財は残りやすいが、伝統芸能など無形文化財等はそれに関わる人がいなくなると消滅するおそれがある。
2	文化財の活用	平成28年NHK大河ドラマが『真田丸』に決定したため名胡桃城址を中心に整備を急ぐ必要が生じた。 みなかみ町歴史ガイド協会との連絡調整。 町内の資料館は文化財の啓発普及に大きくつながるが、入館者数を見てもまったく伸びていない。	①みなかみ町歴史を活かした町づくり事業実行委員会、(仮称)真田丸プロジェクトチームに積極的にに関わり、整備を早める。 ②毎月行われているガイド協会の定例会や研修会に積極的に参加する。 ③資料館の統合も視野に入れて展示内容更新あるいは企画展示会等を積極的に行う。
3			
4			

29 文化財の保存と活用

29-01-000001				担当組織 教育課 生涯学習推進グループ				事業費		383,870円						
国指定文化財管理事業				予算科目 会計 一般会計		款 10教育費		項 6社会教育費		目 4文化財保護費						
事業概要	対象	①町民 ②指定文化財			意図	①指定文化財の認識 ②保存管理と活用			手段	*矢瀬遺跡、水上石器時代住居跡、雲越家住宅を中心とした史跡の維持管理作業 *全国史跡整備市町村協議会事務						
		人口	平成24年度	平成25年度		単位	主な文化財の見学者数(雲越家住宅・旧戸部家住宅)	平成24年度		平成25年度	単位	管理をする文化財の件数(雲越家、旧戸部家、石器時代、矢瀬)	平成24年度	平成25年度	単位	
評価結果と今後の方向性		廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携		効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下				
全体総括		現在、草刈り、修繕等の維持管理にとどまっているが、積極的な啓発普及活動も推進する必要がある。平成12年度に史跡公園になった矢瀬遺跡は10年以上経過したことにより、至る所で老朽箇所が目立つようになってきた。町の文化財のシンボルともいえる重要な史跡であるため、大規模な原状復帰作業が必要と思われる。			今後の改革改善案			文化財調査委員と連携して指定文化財をもっと巡視し、積極的な啓発普及活動を行う必要がある。			課題とその解決策			担当者の専門性が要求される。そのため、調査、研究をしていく必要がある。また、矢瀬遺跡は国庫補助事業により大規模な原状復帰作業を行う必要がある。		

29-01-000002				担当組織 教育課 生涯学習推進グループ				事業費		1,994,624円						
県指定文化財管理事業				予算科目 会計 一般会計		款 10教育費		項 6社会教育費		目 4文化財保護費						
事業概要	対象	①町民 ②指定文化財			意図	①指定文化財の認識 ②保存管理と活用			手段	*県指定文化財のうち管理に経費のかかるものについて管理者等へ管理委託料を支払う*名胡桃城址保存整備委員会を2回開催						
		人口	平成24年度	平成25年度		単位	主な文化財の見学者数(名胡桃城址)	平成24年度		平成25年度	単位	管理委託をする文化財の件数	平成24年度	平成25年度	単位	
評価結果と今後の方向性		廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携		効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下				
全体総括		現在、所有者へ管理に関わる年間委託料を支払っているだけであるが、より積極的な指導、啓発普及活動につとめる必要がある。			今後の改革改善案			文化財調査委員と連携して指定文化財をもっと巡視し、積極的な啓発普及活動を行う必要がある。			課題とその解決策			担当者の専門性が要求される。そのため、調査、研究をしていく必要がある。		

29-01-000003				担当組織 教育課 生涯学習推進グループ				事業費		352,249円						
町指定文化財管理事業				予算科目 会計 一般会計		款 10教育費		項 6社会教育費		目 4文化財保護費						
事業概要	対象	①町民 ②指定文化財			意図	①指定文化財の認識 ②保存管理と活用			手段	*町指定文化財のうち管理に経費のかかるものについて管理者等へ管理委託料を支払う。(平成24年度より委託料から謝金へ変更。)*町指定文化財で個人・団体の管理者が存在しないものの維持管理。						
		人口	平成24年度	平成25年度		単位	月夜野郷土歴史資料館見学者数(町指定文化財を展示している)	平成24年度		平成25年度	単位	管理委託をする文化財の件数	平成24年度	平成25年度	単位	
評価結果と今後の方向性		廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携		効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下				
全体総括		現在、所有者へ管理に関わる年間委託料を支払っているだけであるが、より積極的な指導、啓発普及活動につとめる必要がある。			今後の改革改善案			文化財調査委員と連携して指定文化財をもっと巡視し、積極的な啓発普及活動を行う必要がある。			課題とその解決策			担当者の専門性が要求される。そのため、調査、研究をしていく必要がある。		

29 文化財の保存と活用

29-01-000004				担当組織 教育課 生涯学習推進グループ				事業費 5,604,390円					
埋蔵文化財調査事業				予算科目 会計 一般会計		款 10教育費		項 6社会教育費		目 4文化財保護費			
事業概要	対象	登録されている遺跡 / 国史跡水上石器時代住居跡			意図	現状で保護される。または記録保存される。史跡の概要が把握される。			手段	*開発等に伴う埋蔵文化財包蔵地確認事務*水上石器時代住居跡調査事業			
		遺跡	平成24年度	平成25年度		単位	発掘調査数	平成24年度		平成25年度	単位	埋蔵文化財包蔵地確認(照会)	平成24年度
			469	469	件		0	0	件		12	20	件
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input checked="" type="radio"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input checked="" type="radio"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input checked="" type="radio"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>		
	全体総括	専門性の高い分野の業務であり、担当者の日常的な調査研究が必要である。				今後の改革改善案	過去の出土遺物を一般公開する。				課題とその解決策	いつ、調査が必要になるかわからないため、常に調査研究を行い準備しておく必要がある。また、出土遺物を資料館等で展示しなければならない。	

29-01-000005				担当組織 教育課 生涯学習推進グループ				事業費 175,594円					
文化財調査委員会事業				予算科目 会計 一般会計		款 10教育費		項 6社会教育費		目 4文化財保護費			
事業概要	対象	①町民 ②町内の文化財			意図	①指定文化財の認識 ②保存管理と活用			手段	*文化財調査委員会議の開催*文化財の指定			
		人口	平成24年度	平成25年度		単位	資料館を含む主な文化財の見学者数	平成24年度		平成25年度	単位	文化財調査委員招集回数	平成24年度
			21,532	21,285	人		2,508	1,616	人		3	2	回
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input checked="" type="radio"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input checked="" type="radio"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input checked="" type="radio"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>		
	全体総括	文化財調査委員との連携を強め、文化財活動を促進する必要がある。また、担当者による専門的な研究が文化財のさらなる啓発普及につながる。				今後の改革改善案	文化財調査委員と町内の文化財巡視を行い、潜在的な文化財の発見等につとめる。				課題とその解決策	担当者の専門性を高める。	

29-02-000001				担当組織 教育課 生涯学習推進グループ				事業費 2,041,145円					
月夜野郷土歴史資料館管理運営事業				予算科目 会計 一般会計		款 10教育費		項 6社会教育費		目 3社会教育施設費			
事業概要	対象	①町民 ②観光客			意図	町内の歴史・文化を知り、その重要性を知る。			手段	*管理人を雇い毎週日曜に開館 *月夜野地区小学生が授業で来館し、案内した。 *重要な収蔵物を研究者等に公開			
		人口	平成24年度	平成25年度		単位	来館者数	平成24年度		平成25年度	単位	開館日	平成24年度
			21,532	21,285	人		203	327	人		52	59	日
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input checked="" type="radio"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input checked="" type="radio"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input checked="" type="radio"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>		
	全体総括	代替の場所を見つけ、現在ある施設の処理方法を検討する必要がある。資料館の場所を移す必要があるが、資料館施設自体は存続させなければならないと考える。				今後の改革改善案	代替の場所を見つけ、現在ある施設の処理方法を検討する必要がある。				課題とその解決策	撤去費用が高額であり、その計上方法を検討しなければならない。	

29 文化財の保存と活用

29-02-000002				担当組織	教育課 生涯学習推進グループ				事業費	123,908円					
水上歴史民俗資料館管理運営事業				予算科目	会計	一般会計	款	10教育費	項	6社会教育費	目	3社会教育施設費			
事業概要	対象	町民・観光客			意図	町内の歴史・文化を知り、その大切さについて考える。				手段	一般公開 休館日 月・祝日・年末年始				
		人口	平成24年度	平成25年度		単位	来館者数	平成24年度	平成25年度		単位	開館日	平成24年度	平成25年度	単位
			21,532	21,285	人		1,350	1,120	人		302	274	日		
評価結果と今後の方向性	全体総括	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input checked="" type="radio"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input checked="" type="radio"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input checked="" type="radio"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		成果 向上 維持 低下		コスト 削減 維持 増加 ○ × ×	
		これ以上の削減は不可能であり、経費をかけずに展示内容を充実させたい。				今後の改革改善案 専門的なことを調査研究し、展示内容を変更していく。				課題とその解決策 専門分野に関わることであり、担当者による研究が必要。また、観光部門との提携、より一層の展示内容の工夫が必要。					

29-02-000003				担当組織	教育課 生涯学習推進グループ				事業費	387,562円					
雲越家住宅資料館管理運営事業				予算科目	会計	一般会計	款	10教育費	項	6社会教育費	目	3社会教育施設費			
事業概要	対象	町民・観光客			意図	町内の歴史・文化を知り、その重要性を知る。				手段	一般公開 開館日 土・日・祝日				
		人口	平成24年度	平成25年度		単位	来館者数	平成24年度	平成25年度		単位	開館日	平成24年度	平成25年度	単位
			21,532	21,285	人		410	169	人		74	76	日		
評価結果と今後の方向性	全体総括	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input checked="" type="radio"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input checked="" type="radio"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input checked="" type="radio"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		成果 向上 維持 低下		コスト 削減 維持 増加 ○ × ×	
		これ以上の削減は不可能であり、経費をかけずに内容を充実させたい。				今後の改革改善案 地域住民の協力をあおぎ、体験学習を行うなどの改善が必要。				課題とその解決策 地域住民の協力と観光部局との連携					

29-02-000004				担当組織	教育課 生涯学習推進グループ				事業費	500,000円					
永井宿郷土館管理運営事業				予算科目	会計	一般会計	款	10教育費	項	6社会教育費	目	3社会教育施設費			
事業概要	対象	町民・観光客			意図	町内の歴史・文化を知り、その重要性を知る。				手段	指定管理事務				
		人口	平成24年度	平成25年度		単位	来館者数	平成24年度	平成25年度		単位	開館日	平成24年度	平成25年度	単位
			21,532	21,285	人		545	462	人		157	183	日		
評価結果と今後の方向性	全体総括	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input checked="" type="radio"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input checked="" type="radio"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input checked="" type="radio"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		成果 向上 維持 低下		コスト 削減 維持 増加 ○ × ×	
		これ以上の削減は不可能であり、経費をかけずに展示内容を充実させたい。				今後の改革改善案 専門的なことを調査研究し、展示内容を変更していく。				課題とその解決策 指定管理しているため、基本的には展示内容等を含め永井区に委託している。					

29 文化財の保存と活用

29-02-000005				担当組織	教育課 生涯学習推進グループ				事業費	10,000円						
県博物館連絡協議会参画事業				予算科目	会計	一般会計		款	10教育費		項	6社会教育費		目	3社会教育施設費	
事業概要	対象	*加入している町内の資料館			意図	*他市町村の資料館と連携することにより、展示内容等を充実させる。				手段	*総会(年1回)*会費の支払い事務*資料館活動状況の報告					
		加入資料館数	平成24年度	平成25年度		単位	入館者数	平成24年度	平成25年度		単位	会費の支払い	平成24年度	平成25年度	単位	
			1	1	館		203	327	人		10,000	10,000	円			
評価結果と今後の方向性	全体総括	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input checked="" type="radio"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input checked="" type="radio"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input checked="" type="radio"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input checked="" type="radio"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		削減 維持 増加 向上 維持 低下 成果		コスト 削減 維持 増加 向上 維持 低下 成果		
		事業費が少なく、資料館の資質向上に役立つため、現状維持が妥当であると思われる。			今後の改革改善案			研修会に積極的に参加する必要がある。			課題とその解決策			専門的な学芸員(資料館・博物館専門員)がいないため、この業務を専属でできる職員がいない。		